

横教指 第 45 号

令和 2 年 (2020 年) 12 月 18 日

学力向上推進委員会委員長様

横須賀市教育委員会
教育長 新倉 聡

次に掲げる事項について、下記の理由を添えて諮問します。

「学力向上推進プランにおける目標①から⑤に係る検証について」

<理由>

横須賀市の子どもたちの学力に関する状況は、市独自に行っている学習状況調査の結果において、全国平均正答率を下回っており、学力向上のさらなる推進が喫緊の課題となっております。特に、小学校 3 年生の時点で全国平均正答率と大きく差が開いており、小学校低学年の段階での学習の定着に課題があることや、全体的には学年を追うごとに学習状況が向上していく中で、平均正答率 40%未満の割合が減少しないことなどが特徴として考えられています。

このような状況を捉え、本市では、平成 27 年度の学力向上推進委員会における検証に基づき定めた「学校が取り組むべき 3 つの提言」を軸とし、学力向上の取組を推進してきました。また、平成 29 年度には、学力向上推進の取組について具体的な目標指標を設け、学校と教育委員会が中長期的なスパンで目指すべき方向性を共有し、学力向上を推進すべく、教育振興基本計画第 3 期実施計画に基づいた学力向上推進プランを作成しました。この学力向上推進プランを平成 30 年度より 4 か年計画で進行しており、本年度はその 3 年目となっております。

このような中、現在、横須賀市の子どもたちの学力に関する現状や、次期学力向上推進のプランを含めた今後の学力向上推進のための取組の方向性を捉えるべく、現在の学力向上推進プランに設定している目標となる 5 項目の指標について考察をし、その成果や課題について検討を行っております。

つきましては、この目標の 5 項目について検証していただき、次期学力向上推進プランの新たな目標の方向性についてご検討ください。